

教育環境

1. 目指す姿

子ども一人ひとりが適切な学習環境の中、よさや個性を発揮し、充実した学校生活を送っています。

2. 基本方針

- (1) 教職員の資質向上と指導力の充実を図る研修を推進します。
- (2) より豊かな学びを促す学習環境を整備します
- (3) 安全で安心な教育環境の整備・充実と有効活用を図ります。
- (4) 園・学校運営の充実と活性化を図る学校評価を推進します。

3. 各種施策の実施状況及び成果、課題（現 教育振興基本計画の検証作業）

「教育環境」については、学校司書の配置やICTの推進など教育環境の整備を進めるとともに、安全で安心できる学校づくりのため「校舎等耐震補強事業」や「放射線教育」などの各種事業に取り組んでおります。

成果としましては、学校司書の配置や図書整備による学校図書館機能の充実、放射線教育指導資料の作成、また、学校施設の耐震化を進め、通学路の安全点検を実施するなど、安全安心な教育環境の整備を推進しました。

課題としましては、学校の耐震化の早期の完了や長寿命化、洋式トイレの計画的な整備等のほか、施設の老朽化、狭隘化、バリアフリー化への対応が喫緊の課題となっている福島養護学校の整備を推進していく必要があります。

4. 基本方針を推進・実現するための主な重点事業

(1) 校舎等耐震補強事業

学校は、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っています。「福島市小中学校等施設耐震化推進計画」に基づいて、優先度の高い建物から計画的に耐震化に取り組む。

(2) 福島養護学校の整備

施設の老朽化、狭隘化、バリアフリー化への対応が喫緊の課題となっていることから、早期の環境改善に取り組む。

5. 主な指標

指標名	現状値 (H26)	目標値 (H32)	説明
校舎等の耐震化率 (幼稚園、特別支援学校を含む)	67.7%	95.0%	児童生徒の安全で安心な教育環境の整備状況をはかる指標です。 校舎等の耐震化の早期完了を目指します。